

通信

NO. 64
平成30年5月号

ビジネス総研株式会社
福岡市博多区博多駅前4丁目
33番11-702号
☎092-409-4177

今月のスケッチ

“山笑う”



“山笑う”——初夏の装いを迎えた山々。木々の緑は、生き生きと様々な表情を見せる。この季節が一番好きだ。

スタ
コラ

見合った仕掛けでアジを釣ろう

柿本 和人

最近、「求人しても、人材が集まらない」とよく聞く。

今回は魚釣りを例にあげてこのことを考えてみたい。

私は釣りをする。

とはいっても、船に乗り込みでかい鯛を狙うわけではなく、堤防から釣りをするのだ。

糸の先に青いプラスチックのカゴをつけ、その中に小さなエビのような餌を詰めて海に落とす。カゴの上にはエビに似せた針が5本くらいついていて、おびき寄せられた小魚（アジ）が間違っって疑似餌を食べることで釣れるのだ。

とても簡単な仕掛けで、技術も忍耐も必要としないが、それでも釣れないときは、ある。

なぜなのか？

①魚のいないところに落としても釣れない②魚がいないときに落としても釣れない③針が大きすぎたり小さすぎたりすると釣れない

人材採用では次のように解釈できないだろうか。

①人材がいないところで求人しても取れない②人材が動かないときに求人しても取れない③給料が多過ぎても少な過ぎても取れない

この中で、とりわけ③について主張したい。

誰だって高い給料を提示してそれに見合ういい人材を採用したいものだ。

鯛が食べたい！本当にそうなら、船頭に船賃を払って沖に繰り出し、大物を狙うべきだろう。

しかし、いまあなたの会社に必要なのは本当に鯛なのか？

実は青いカゴで釣れる小アジ

でも、いいじゃないのか。

アジも料理の仕方によっては美味しくいただける。

それはひとえにシェフ（社長）の腕の見せ所でしょう？

例えは違うが、「出世魚」という言葉もある。

すべての魚が出世するわけではないが、人材の場合大きく化ける可能性は誰にでもある。

組織が即戦力を求める気持ちはわかるが、箸にも棒にもひっかからない人間を採用し、育て、立派な人間にすることこそ、素晴らしい社会貢献ではないだろうか。

親父バンド“ヤジーX”ライブに参加

とにかく元気。

親父バンド“ヤジーX”は、同じようなバ



ンド仲間に呼びかけて定期的にライブをおこなっている。

演奏曲は、そのほとんどがロック。バンドリーダーのドラマーは、障がい者福祉施設の支援員、68歳。力強いドラムと時折り、“おやじギャグ”が炸裂する。

これがなかなか好評で、毎回、元気をもらう。案内があると、出かけることにしている。

この「通信」の包装は、袋や用紙、宛名カードの材質の影響で、多少のずれやしわ、ゆがみなどがある場合があります。ご容赦ください。



映画大好きの山ちゃんが、毎回、自分の言葉で執筆します。

ペンタゴン・ペーパーズ 最高機密文書



監督：スティーブン・スピルバーグ
出演：メリル・ストリープ
トム・ハンクス
サラ・ポールソン
ボブ・オデンカーク
トレイシー・レッツ
2017年 米：20世紀フォックス・ドリームワークス 他

1971年に全米を震撼させた実話の映画化。

国家を揺るがす機密文書ペンタゴン・ペーパーズを巡る物語。使命を果たすため、権力に立ち向かった女性経営者（キャサリン・グラハム）の真実が明かされる。

アカデミー賞俳優のメリル・ストリープとトム・ハンクスの初共演の演技が見応え抜群である。

S・スピルバーグ監督が他の作品よりも前倒ししてまでも、

今、映画化せねばならないと感じた、その力強いメッセージが込められた作品だ。

日本では、国家機密保護法の成立後、国民の前に明らかにされていない文書が相当あると聞いている。

日本のマスコミも、報道の自由を守り国民のために頑張ってもらいたいものです。

くまさんの コンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

NPO法人定期総会



NPO法人Hの年次総会に出席した。

この法人は、障がい者の就業継続B型事業所とグループホームを運営している。

この法人は、理念①障がい者に仕事をつくり、働くことを通して自立することを目指します。②ひとりひとりの個性にあった支援を心がけ、地域との繋がりを

大切にし、社会参加の足がかりとします③お互いを敬い、支えあって生かされていることに感謝し、みんなで居心地の良い施設にします—を掲げ、職員の方々に支えられて運営されている。

私も、法人設立以前からご縁を頂き、非常勤の理事を仰せつかっている。

今後も、微力ではあるができる範囲の協力を続けている。



編集後記

母校・鳥栖高校の昭和42年卒の同窓会に出席した。

当時の担任の先生は89歳になっておられたが、元気なお姿で参加された。

当然のことだが、同窓生は、全員が古稀を迎え、相当体形も風貌も変わっている。

100名を超す参加者が、「誰だったかな?」「あゝ、A君か」と、なつかしい顔を思い出したり、最後まで思い出さなかったりと会話が續いていた。

鬼籍に入った同窓生もいる。

考えてみると、話題の“終活”も現実味を帯びてきているが、一方では、まだまだだと思っている自分もいる。

Relationship & Partnership **総研**

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4-33-11-702

☎092-409-4177 FAX092-409-4170

Eメール kuma@b-souken.com

<http://www.b-souken.com>